

令和4年度

諫早市下水道事業会計  
決算審査意見書

諫早市監査委員



5 諫 監 第 4 0 号  
令和 5 年 9 月 4 日

諫早市長 大久保 潔重 様

諫早市監査委員	谷 口	啓
諫早市監査委員	森 口	恭 子
諫早市監査委員	森	和 明

令和 4 年度諫早市下水道事業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定により審査に付された令和 4 年度諫早市下水道事業会計決算の審査を行ったので、その結果について次のとおり意見書を提出します。

## 目 次

第1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の方法	1
第2	審査の結果	1
1	事業の概要について	1
2	予算の執行状況について	2
	(1) 収益的収入及び支出	
	(2) 資本的収入及び支出	
	(3) その他の予算事項	
3	経営成績について	7
	(1) 営業収益及び営業費用	
	(2) 営業外収益及び営業外費用	
	(3) 特別利益及び特別損失	
	(4) 原価計算	
	(5) 剰余金計算	
	(6) 各下水道事業別の経営成績	
4	財政状態について	13
	(1) 資産の部	
	(2) 負債の部	
	(3) 資本の部	
5	資金収支の状況について	17
6	セグメント情報	18
7	むすび	19

### おことわり事項

- 1 本書中の各比率は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示している。
- 2 下記表現の説明は、次のとおりである。  
「0」・「0.0」 該当数値はあるが単位未満のもの  
「－」 該当数値がないもの  
「皆増」 前年度に数値がなく全額増加したもの  
「皆減」 当年度に数値がなく全額減少したもの
- 3 本書中に用いているポイントとは、パーセンテージ間の単純差引き数値である。

# 令和4年度諫早市下水道事業会計決算審査意見書

## 第1 審査の概要

### 1 審査の対象

令和4年度諫早市下水道事業会計決算

### 2 審査の期間

令和5年7月3日から令和5年9月4日

### 3 審査の方法

審査に付された決算報告書、財務諸表、事業報告書及び付属明細書について、地方公営企業法等関係法令に準拠して作成され、当事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証するため、総勘定元帳その他の会計帳票及び関係証書類と照合するとともに、必要に応じ資料の提出を求め、また、関係職員から事情を聴取するなどにより審査した。

審査に当たっては、当事業が経済性を発揮し、公共の福祉を増進するために運営されたかを検討するため、事業の経営分析を行った。

## 第2 審査の結果

審査に付された決算報告書、財務諸表、事業報告書及び付属明細書は、関係法令に準拠して作成されており、当年度の経営成績及び当年度末現在の財政状態を適正に表示していると認められた。

審査の結果の詳細は、次のとおりである。

### 1 事業の概要について

#### (1) 下水処理状況

当年度末における接続人口は 90,726 人で、前年度に比べ 1,172 人 (1.3%) 増加しており、接続戸数は 44,728 戸で、前年度に比べ 1,334 戸 (3.1%) 増加している。普及率は 78.6% で、前年度に比べ 0.8 ポイント上昇している。年間総処理水量は 14,664,139 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 279,233 m<sup>3</sup> (1.9%) 増加し、年間有収水量は 14,134,185 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 475,084 m<sup>3</sup> (3.5%) 増加している。有収率は 96.4% で、前年度に比べ 1.4 ポイント上昇している。

#### (2) 建設改良事業

当年度における建設改良事業の状況は、拡張工事では、公共下水道事業で大村湾処理区 15 件、439,764,900 円、諫早湾処理区 14 件、457,478,500 円、特定環境保全公共下水道事業で飯盛処理区 10 件、260,428,400 円、高来処理区 3 件、83,636,300 円である。

改良工事では、公共下水道事業で 4 件、20,710,800 円、特定環境保全公共下水道事業で 1 件、9,900,000 円、農業集落排水事業で 12 件、74,749,400 円である。

主な拡張工事は、半造川第 1 号汚水幹線布設工事 (R 3 - 1 工区) 142,838,300 円、津久葉第 7 号汚水幹線布設工事 (R 4 - 2 工区) 111,190,000 円、津久葉第 7 号汚水幹

線布設工事（R4-1工区）70,570,000円である。主な改良工事は、下名・慶師野地区7号マンホールポンプ場外8箇所水中ポンプ取替工事13,917,200円である。主な保存工事は、諫早中央浄化センター3系曝気機分解整備工事21,743,700円である。

なお、製作機器の部品供給不足等により、次年度へ繰越された事業は23件、繰越金額は1,270,740,331円である。

## 2 予算の執行状況について

当年度の予算の執行状況は、次のとおりである。

### (1) 収益的収入及び支出

(収益的収入)

(単位:円)

区 分	令和4年度				収入率 (%) (B)/(A)	令和3年度	対前年度	
	予算額 (A)	決算額 (B)	構成 比(%)	増減額 (B)-(A)		決算額 (C)	増減額 (D) (B)-(C)	比率 (%) (D)/(C)
<b>営業収益</b>	<b>2,749,000,000</b>	<b>2,780,916,870</b>	<b>52.3</b>	<b>31,916,870</b>	<b>101.2</b>	<b>2,681,373,350</b>	<b>99,543,520</b>	<b>3.7</b>
公共下水道事業収益	2,232,588,000	2,279,951,640	42.9	47,363,640	102.1	2,187,935,750	92,015,890	4.2
特定環境保全公共下水道事業収益	180,050,000	183,751,770	3.5	3,701,770	102.1	182,633,050	1,118,720	0.6
農業集落排水事業収益	229,073,000	223,471,090	4.2	△5,601,910	97.6	226,327,560	△2,856,470	△1.3
漁業集落排水事業収益	25,173,000	23,530,590	0.4	△1,642,410	93.5	24,267,810	△737,220	△3.0
公共下水道事業他会計補助金	65,357,000	56,210,000	1.1	△9,147,000	86.0	45,849,000	10,361,000	22.6
特定環境保全公共下水道事業他会計補助金	7,061,000	5,789,000	0.1	△1,272,000	82.0	5,800,000	△11,000	△0.2
農業集落排水事業他会計補助金	9,102,000	7,725,000	0.1	△1,377,000	84.9	7,810,000	△85,000	△1.1
漁業集落排水事業他会計補助金	583,000	398,000	0.0	△185,000	68.3	555,000	△157,000	△28.3
公共下水道事業その他営業収益	7,000	61,300	0.0	54,300	875.7	165,980	△104,680	△63.1
特定環境保全公共下水道事業その他営業収益	2,000	960	0.0	△1,040	48.0	880	80	9.1
農業集落排水事業その他営業収益	2,000	24,480	0.0	22,480	1224.0	24,880	△400	△1.6
漁業集落排水事業その他営業収益	2,000	3,040	0.0	1,040	152.0	3,440	△400	△11.6
<b>営業外収益</b>	<b>2,535,738,000</b>	<b>2,529,535,508</b>	<b>47.7</b>	<b>△6,202,492</b>	<b>99.8</b>	<b>2,579,600,483</b>	<b>△50,064,975</b>	<b>△1.9</b>
公共下水道事業受取利息及び配当金	307,000	212,749	0.0	△94,251	69.3	263,654	△50,905	△19.3
公共下水道事業他会計補助金	648,678,000	635,491,000	12.0	△13,187,000	98.0	654,758,000	△19,267,000	△2.9
特定環境保全公共下水道事業他会計補助金	257,391,000	254,102,000	4.8	△3,289,000	98.7	248,940,000	5,162,000	2.1
農業集落排水事業他会計補助金	396,173,000	394,011,000	7.4	△2,162,000	99.5	391,647,000	2,364,000	0.6
漁業集落排水事業他会計補助金	16,499,000	16,668,000	0.3	169,000	101.0	13,451,000	3,217,000	23.9
公共下水道事業長期前受金戻入	656,059,000	650,456,988	12.2	△5,602,012	99.1	690,062,063	△39,605,075	△5.7
特定環境保全公共下水道事業長期前受金戻入	254,586,000	253,244,479	4.8	△1,341,521	99.5	256,301,643	△3,057,164	△1.2
農業集落排水事業長期前受金戻入	276,365,000	295,126,550	5.6	18,761,550	106.8	293,582,714	1,543,836	0.5
漁業集落排水事業長期前受金戻入	21,948,000	21,892,959	0.4	△55,041	99.7	21,892,960	△1	△0.0
雑収益	7,732,000	8,329,783	0.2	597,783	107.7	8,701,449	△371,666	△4.3
<b>特別利益</b>	<b>8,000</b>	<b>91,780</b>	<b>0.0</b>	<b>83,780</b>	<b>1147.3</b>	<b>65,440</b>	<b>26,340</b>	<b>40.3</b>
固定資産売却益	4,000	-	-	△4,000	-	-	-	-
過年度損益修正益	4,000	91,780	0.0	87,780	2294.5	65,440	26,340	40.3
その他特別利益	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>合 計</b>	<b>5,284,746,000</b>	<b>5,310,544,158</b>	<b>100.0</b>	<b>25,798,158</b>	<b>100.5</b>	<b>5,261,039,273</b>	<b>49,504,885</b>	<b>0.9</b>

(税込み)

## (収益的支出)

(単位:円)

区 分	令和4年度					令和3年度	対前年度	
	予算額 (A)	決算額 (B)	構成 比(%)	不用額 (A)-(B)	執行率 (%) (B)/(A)	決算額 (C)	増減額 (D) (B)-(C)	比率 (%) (D)/(C)
<b>営業費用</b>	<b>4,307,677,000</b>	<b>3,990,163,031</b>	<b>89.3</b>	<b>317,513,969</b>	<b>92.6</b>	<b>3,866,426,994</b>	<b>123,736,037</b>	<b>3.2</b>
公共下水道事業管渠費	59,164,437	35,061,965	0.8	24,102,472	59.3	45,551,604	△10,489,639	△23.0
特定環境保全公共下水道事業管渠費	49,581,919	24,985,645	0.6	24,596,274	50.4	37,210,039	△12,224,394	△32.9
農業集落排水事業管渠費	93,452,533	73,583,047	1.7	19,869,486	78.7	72,321,766	1,261,281	1.7
漁業集落排水事業管渠費	3,254,000	910,870	0.0	2,343,130	28.0	870,452	40,418	4.6
公共下水道事業ポンプ場費	50,722,129	31,798,036	0.7	18,924,093	62.7	27,924,355	3,873,681	13.9
公共下水道事業処理場費	1,104,829,000	1,002,545,868	22.4	102,283,132	90.7	881,866,927	120,678,941	13.7
特定環境保全公共下水道事業処理場費	157,527,702	133,768,428	3.0	23,759,274	84.9	122,652,332	11,116,096	9.1
農業集落排水事業処理場費	175,118,278	139,907,461	3.1	35,210,817	79.9	144,910,758	△5,003,297	△3.5
漁業集落排水事業処理場費	15,304,002	12,117,582	0.3	3,186,420	79.2	12,429,351	△311,769	△2.5
公共下水道事業総係費	127,560,000	109,629,914	2.5	17,930,086	85.9	100,854,075	8,775,839	8.7
特定環境保全公共下水道事業総係費	19,965,000	14,568,143	0.3	5,396,857	73.0	15,778,144	△1,210,001	△7.7
農業集落排水事業総係費	29,351,000	23,761,836	0.5	5,589,164	81.0	21,560,266	2,201,570	10.2
漁業集落排水事業総係費	2,456,000	1,648,840	0.0	807,160	67.1	1,649,130	△290	△0.0
公共下水道事業減価償却費	1,347,732,000	1,322,260,208	29.6	25,471,792	98.1	1,347,893,513	△25,633,305	△1.9
特定環境保全公共下水道事業減価償却費	472,544,000	473,572,215	10.6	△1,028,215	100.2	465,441,229	8,130,986	1.7
農業集落排水事業減価償却費	511,902,000	508,991,764	11.4	2,910,236	99.4	519,848,573	△10,856,809	△2.1
漁業集落排水事業減価償却費	40,805,000	40,798,361	0.9	6,639	100.0	40,794,243	4,118	0.0
公共下水道事業資産減耗費	14,635,000	2,024,641	0.0	12,610,359	13.8	109,971	1,914,670	1741.1
特定環境保全公共下水道事業資産減耗費	6,468,000	8,274	0.0	6,459,726	0.1	6,666,755	△6,658,481	△99.9
農業集落排水事業資産減耗費	25,296,000	38,219,092	0.9	△12,923,092	151.1	59,903	38,159,189	63701.6
漁業集落排水事業資産減耗費	5,000	841	0.0	4,159	16.8	33,608	△32,767	△97.5
その他営業費用	4,000	-	-	4,000	-	-	-	-
<b>営業外費用</b>	<b>536,615,000</b>	<b>479,809,709</b>	<b>10.7</b>	<b>56,805,291</b>	<b>89.4</b>	<b>543,717,700</b>	<b>△63,907,991</b>	<b>△11.8</b>
公共下水道事業支払利息及び企業債取扱諸費	286,665,000	248,060,115	5.5	38,604,885	86.5	274,732,744	△26,672,629	△9.7
特定環境保全公共下水道事業支払利息及び企業債取扱諸費	100,475,000	92,959,890	2.1	7,515,110	92.5	96,933,004	△3,973,114	△4.1
農業集落排水事業支払利息及び企業債取扱諸費	123,339,000	115,862,501	2.6	7,476,499	93.9	127,292,800	△11,430,299	△9.0
漁業集落排水事業支払利息及び企業債取扱諸費	5,813,000	5,811,093	0.1	1,907	100.0	5,943,722	△132,629	△2.2
消費税及び地方消費税	18,495,000	15,781,900	0.4	2,713,100	85.3	38,070,800	△22,288,900	△58.5
雑支出	1,828,000	1,334,210	0.0	493,790	73.0	744,630	589,580	79.2
<b>特別損失</b>	<b>604,000</b>	<b>118,250</b>	<b>0.0</b>	<b>485,750</b>	<b>19.6</b>	<b>425,480</b>	<b>△307,230</b>	<b>△72.2</b>
固定資産売却損	4,000	-	-	4,000	-	-	-	-
過年度損益修正損	600,000	118,250	0.0	481,750	19.7	425,480	△307,230	△72.2
<b>予備費</b>	<b>10,000,000</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>10,000,000</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
<b>合 計</b>	<b>4,854,896,000</b>	<b>4,470,090,990</b>	<b>100.0</b>	<b>384,805,010</b>	<b>92.1</b>	<b>4,410,570,174</b>	<b>59,520,816</b>	<b>1.3</b>

(税込み)

収入合計は5,310,544,158円で、予算額5,284,746,000円に対し25,798,158円多く、収入率は100.5%である。

主な理由は、公共下水道事業収益が予算額を上回ったことによるものである。

支出合計は4,470,090,990円で、予算額4,854,896,000円に対して384,805,010円の不用額を生じており、執行率は92.1%である。

不用額の主なものは、公共下水道事業処理場費102,283,132円、公共下水道事業支払利息及び企業債取扱諸費38,604,885円である。

## (2) 資本的収入及び支出

(資本的収入)

(単位:円)

区 分	令和4年度							令和3年度	対前年度	
	予算額			決算額		増減額 (B)-(A)	収入 率(%) (B)/(A)	決算額 (C)	増減額 (D)	比率 (%) (D)/(C)
	当年度	繰越額	計 (A)	(B)	構成 比(%)					
<b>企業債</b>	1,918,100,000	482,000,000	2,400,100,000	1,109,000,000	43.0	△1,291,100,000	46.2	840,200,000	268,800,000	32.0
公共下水道事業企業債	1,412,200,000	444,600,000	1,856,800,000	900,800,000	34.9	△956,000,000	48.5	548,900,000	351,900,000	64.1
特定環境保全公共下水道事業企業債	412,600,000	31,500,000	444,100,000	203,100,000	7.9	△241,000,000	45.7	140,300,000	62,800,000	44.8
農業集落排水事業企業債	93,300,000	5,900,000	99,200,000	5,100,000	0.2	△94,100,000	5.1	151,000,000	△145,900,000	△96.6
漁業集落排水事業企業債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>出資金</b>	230,895,000	-	230,895,000	268,892,000	10.4	37,997,000	116.5	266,242,000	2,650,000	1.0
公共下水道事業出資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特定環境保全公共下水道事業出資金	119,173,000	-	119,173,000	83,239,000	3.2	△35,934,000	69.8	103,755,000	△20,516,000	△19.8
農業集落排水事業出資金	110,659,000	-	110,659,000	185,653,000	7.2	74,994,000	167.8	162,487,000	23,166,000	14.3
漁業集落排水事業出資金	1,063,000	-	1,063,000	-	-	△1,063,000	-	-	-	-
<b>補助金</b>	1,201,711,000	353,347,940	1,555,058,940	1,059,320,950	41.1	△495,737,990	68.1	1,037,127,550	22,193,400	2.1
公共下水道事業補助金	944,162,000	323,366,190	1,267,528,190	804,132,819	31.2	△463,395,371	63.4	645,344,015	158,788,804	24.6
特定環境保全公共下水道事業補助金	173,843,000	29,981,750	203,824,750	171,680,131	6.7	△32,144,619	84.2	152,623,535	19,056,596	12.5
農業集落排水事業補助金	83,706,000	-	83,706,000	83,508,000	3.2	△198,000	99.8	239,160,000	△155,652,000	△65.1
漁業集落排水事業補助金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>負担金及び分担金</b>	189,102,000	4,194,300	193,296,300	140,185,300	5.5	△53,111,000	72.5	98,318,760	41,866,540	42.6
公共下水道事業負担金	77,306,000	-	77,306,000	53,416,500	2.1	△23,889,500	69.1	75,398,360	△21,981,860	△29.2
特定環境保全公共下水道事業負担金	19,547,000	-	19,547,000	19,112,400	0.7	△434,600	97.8	12,246,700	6,865,700	56.1
農業集落排水事業負担金	90,294,000	4,194,300	94,488,300	65,915,200	2.6	△28,573,100	69.8	8,164,500	57,750,700	707.3
漁業集落排水事業負担金	1,955,000	-	1,955,000	1,741,200	0.1	△213,800	89.1	2,509,200	△768,000	△30.6
<b>固定資産売却代金</b>	4,000	-	4,000	-	-	△4,000	-	-	-	-
<b>合 計</b>	3,539,812,000	839,542,240	4,379,354,240	2,577,398,250	100.0	△1,801,955,990	58.9	2,241,888,310	335,509,940	15.0

(税込み)



(資本の支出)

(単位:円)

区 分	令和4年度								令和3年度	対前年度	
	予算額			決算額		翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)-(C)	執行 率(%) (B)/(A)	決算額 (D)	増減額 (E) (B)-(D)	比率 (%) (E)/(D)
	当年度	繰越額	計 (A)	(B)	構成 比(%)						
建設改良費	3,335,591,000	938,036,296	4,273,627,296	2,297,394,382	51.4	1,270,740,331	705,492,583	53.8	1,988,271,579	309,122,803	15.5
公共下水道事業拡張費	1,488,844,700	536,513,100	2,025,357,800	1,061,396,000	23.8	784,574,700	179,387,100	52.4	796,893,300	264,502,700	33.2
特定環境保全公共下水道事業拡張費	721,655,300	64,991,900	786,647,200	412,899,900	9.2	105,848,800	267,898,500	52.5	280,184,100	132,715,800	47.4
農業集落排水事業拡張費	-	-	-	-	-	-	-	-	325,548,600	△325,548,600	皆減
漁業集落排水事業拡張費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公共下水道事業改良費	506,413,000	231,575,000	737,988,000	433,542,239	9.7	244,342,000	60,103,761	58.7	256,837,500	176,704,739	68.8
特定環境保全公共下水道事業改良費	12,006,000	9,900,000	21,906,000	19,438,361	0.4	1,298,000	1,169,639	88.7	61,938,800	△42,500,439	△68.6
農業集落排水事業改良費	156,567,000	20,789,400	177,356,400	89,309,650	2.0	43,228,000	44,818,750	50.4	21,464,300	67,845,350	316.1
公共下水道事業受益者負担金徴収費	12,319,208	-	12,319,208	10,946,928	0.3	-	1,372,280	88.9	10,141,599	805,329	7.9
特定環境保全公共下水道事業受益者分担金徴収費	10,916,000	-	10,916,000	8,368,147	0.2	-	2,547,853	76.7	6,654,836	1,713,311	25.7
農業集落排水事業受益者分担金徴収費	292,792	-	292,792	216,401	0.0	-	76,391	73.9	195,110	21,291	10.9
漁業集落排水事業受益者分担金徴収費	278,000	-	278,000	278,343	0.0	-	△343	100.1	244,610	33,733	13.8
公共下水道事業有形固定資産購入費	6,764,360	-	6,764,360	3,250,245	0.1	-	3,514,115	48.0	1,229,603	2,020,642	164.3
特定環境保全公共下水道事業有形固定資産購入費	778,000	-	778,000	311,890	0.0	-	466,110	40.1	399,656	△87,766	△22.0
農業集落排水事業有形固定資産購入費	1,506,000	-	1,506,000	800,325	0.0	-	705,675	53.1	266,065	534,260	200.8
漁業集落排水事業有形固定資産購入費	130,000	-	130,000	37,988	0.0	-	92,012	29.2	2,235	35,753	1599.7
公共下水道事業無形固定資産購入費	282,982,000	74,266,896	357,248,896	147,702,503	3.3	91,448,831	118,097,562	41.3	111,503,981	36,198,522	32.5
特定環境保全公共下水道事業無形固定資産購入費	932,000	-	932,000	846,000	0.0	-	86,000	90.8	-	846,000	皆増
農業集落排水事業無形固定資産購入費	1,256,000	-	1,256,000	1,143,000	0.0	-	113,000	91.0	-	1,143,000	皆増
漁業集落排水事業無形固定資産購入費	110,000	-	110,000	99,000	0.0	-	11,000	90.0	-	99,000	皆増
公共下水道事業建設改良管理費	81,951,180	-	81,951,180	62,647,415	1.4	-	19,303,765	76.4	60,374,165	2,273,250	3.8
特定環境保全公共下水道事業建設改良管理費	24,837,468	-	24,837,468	21,120,927	0.5	-	3,716,541	85.0	21,900,503	△779,576	△3.6
農業集落排水事業建設改良管理費	25,042,992	-	25,042,992	23,030,120	0.5	-	2,012,872	92.0	32,492,616	△9,462,496	△29.1
漁業集落排水事業建設改良管理費	9,000	-	9,000	9,000	0.0	-	-	100.0	-	9,000	皆増
企業債償還金	2,169,431,000	-	2,169,431,000	2,169,430,096	48.6	-	904	100.0	2,165,145,584	4,284,512	0.2
公共下水道事業企業債償還金	1,254,761,000	-	1,254,761,000	1,254,760,896	28.1	-	104	100.0	1,272,475,338	△17,714,442	△1.4
特定環境保全公共下水道事業企業債償還金	311,318,000	-	311,318,000	311,317,778	7.0	-	222	100.0	299,016,272	12,301,506	4.1
農業集落排水事業企業債償還金	583,703,000	-	583,703,000	583,702,657	13.1	-	343	100.0	578,205,421	5,497,236	1.0
漁業集落排水事業企業債償還金	19,649,000	-	19,649,000	19,648,765	0.4	-	235	100.0	15,448,553	4,200,212	27.2
投資	2,020,000	-	2,020,000	201,923	0.0	-	1,818,077	10.0	252,278	△50,355	△20.0
基金費	2,020,000	-	2,020,000	201,923	0.0	-	1,818,077	10.0	252,278	△50,355	△20.0
合 計	5,507,042,000	938,036,296	6,445,078,296	4,467,026,401	100.0	1,270,740,331	707,311,564	69.3	4,153,669,441	313,356,960	7.5

(税込み)

収入合計は 2,577,398,250 円で、予算額 4,379,354,240 円に対して 1,801,955,990 円少なく、収入率は 58.9%である。

支出合計は 4,467,026,401 円、翌年度繰越額は 1,270,740,331 円で、予算額 6,445,078,296 円に対し 707,311,564 円の不用額を生じ、執行率は 69.3%である。

不用額の主なものは、公共下水道事業拡張費 179,387,100 円、特定環境保全公共下水道事業拡張費 267,898,500 円である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 1,889,628,151 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 100,430,303 円、減債積立金 624,742,018 円、及び当年度分損益勘定留保資金 1,164,455,830 円で補てんされている。

### (3) その他の予算事項

地方公営企業法施行令第 17 条に規定する予算に係る事項の執行状況は、次のとおりである。

#### ① 債務負担行為

債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、予算に定めるとおり執行されている。

#### ② 企業債

起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、予算に定めるとおり執行されている。

#### ③ 一時借入金

当年度の一時借入金限度額は、500,000,000 円であったが、執行はなかった。

#### ④ 予定支出の各項の経費の金額の流用

営業費用と営業外費用との間及び建設改良費と投資との間において、流用はなかった。

#### ⑤ 議会の議決を経なければ流用することのできない経費

職員給与費 265,552,000 円であり、流用はなく、予算の範囲内で執行されている。

#### ⑥ 他会計からの補助金

一般会計からの補助金は 1,628,540,000 円（収益的収入 1,370,394,000 円、資本的収入 258,146,000 円）である。

#### ⑦ たな卸資産購入限度額

当年度のたな卸資産購入額は、3,946,800 円であり、予算に定められた購入限度額 8,100,000 円の範囲内で執行されている。

### 3 経営成績について

当年度の経営成績を前年度と対比すると、次の損益計算書のとおりである。

営業収益は 2,534,489,135 円で、前年度に比べ 91,403,430 円増加し、営業費用は 3,857,666,520 円で、前年度に比べ 113,722,258 円増加している。この結果、営業損失は 1,323,177,385 円で、前年度に比べ 22,318,828 円増加している。

営業外収益は 2,529,951,735 円で、前年度に比べ 49,951,939 円減少し、営業外費用は 467,086,101 円で、前年度に比べ 40,898,785 円減少している。これにより、経常利益は 739,688,249 円、当年度純利益は 739,664,065 円である。

(損益計算書)

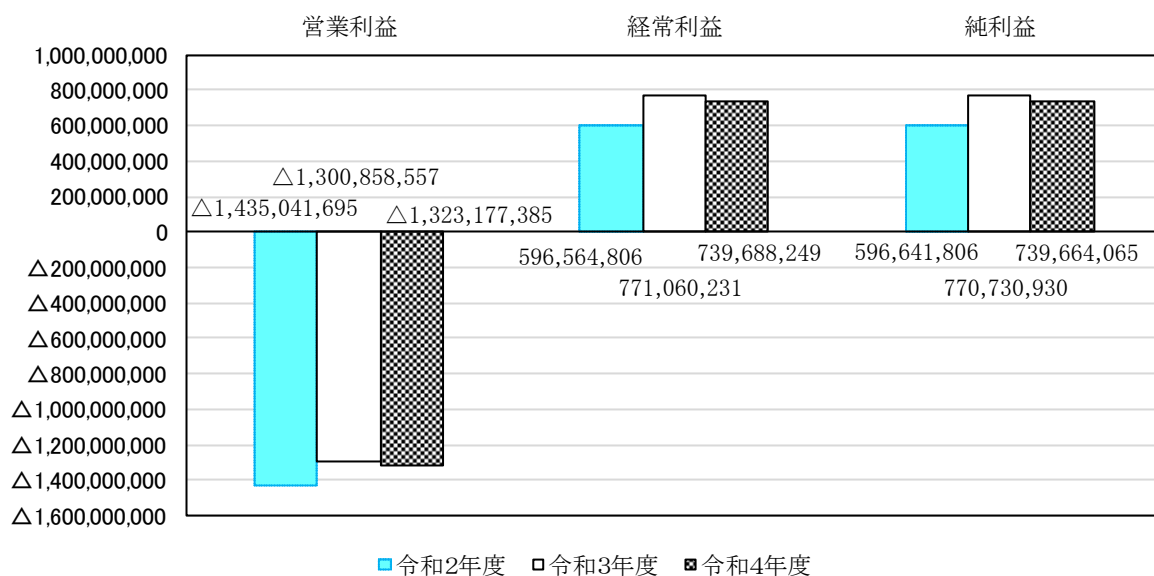
(単位:円)

科 目	令和4年度		令和3年度		比較増減		
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)			
<b>営業収益</b>		<b>2,534,489,135</b>	<b>100.0</b>		<b>2,443,085,705</b>	<b>100.0</b>	<b>91,403,430</b>
事業収益	2,464,277,355		97.2	2,382,876,525		97.5	81,400,830
他会計補助金	70,122,000		2.8	60,014,000		2.5	10,108,000
その他営業収益	89,780		0.0	195,180		0.0	△105,400
<b>営業費用</b>		<b>3,857,666,520</b>	<b>100.0</b>		<b>3,743,944,262</b>	<b>100.0</b>	<b>113,722,258</b>
管渠費	122,929,493		3.2	142,470,942		3.8	△19,541,449
ポンプ場費	29,032,323		0.8	25,487,959		0.7	3,544,364
処理場費	1,175,692,592		30.5	1,060,366,951		28.3	115,325,641
総係費	144,136,716		3.7	134,770,615		3.6	9,366,101
減価償却費	2,345,622,548		60.8	2,373,977,558		63.4	△28,355,010
資産減耗費	40,252,848		1.0	6,870,237		0.2	33,382,611
<b>営業損失</b>		<b>1,323,177,385</b>			<b>1,300,858,557</b>		<b>22,318,828</b>
<b>営業外収益</b>		<b>2,529,951,735</b>	<b>100.0</b>		<b>2,579,903,674</b>	<b>100.0</b>	<b>△49,951,939</b>
受取利息及び配当金	212,749		0.0	263,654		0.0	△50,905
他会計補助金	1,300,272,000		51.4	1,308,796,000		50.7	△8,524,000
長期前受金戻入	1,220,720,976		48.3	1,261,839,380		48.9	△41,118,404
雑収益	8,746,010		0.3	9,004,640		0.4	△258,630
<b>営業外費用</b>		<b>467,086,101</b>	<b>100.0</b>		<b>507,984,886</b>	<b>100.0</b>	<b>△40,898,785</b>
支払利息及び企業債取扱諸費	462,693,599		99.1	504,902,270		99.4	△42,208,671
雑支出	4,392,502		0.9	3,082,616		0.6	1,309,886
<b>経常利益</b>		<b>739,688,249</b>			<b>771,060,231</b>		<b>△31,371,982</b>
<b>特別利益</b>		<b>83,438</b>	<b>100.0</b>		<b>59,494</b>	<b>100.0</b>	<b>23,944</b>
過年度損益修正益	83,438		100.0	59,494		100.0	23,944
その他特別利益	-		-	-		-	-
<b>特別損失</b>		<b>107,622</b>	<b>100.0</b>		<b>388,795</b>	<b>100.0</b>	<b>△281,173</b>
過年度損益修正損	107,622		100.0	388,795		100.0	△281,173
<b>当年度純利益</b>		<b>739,664,065</b>			<b>770,730,930</b>		<b>△31,066,865</b>
前年度繰越利益剰余金		-				-	-
当年度未処分利益剰余金		739,664,065			770,730,930		△31,066,865

(税抜き)

(経営成績年度比較)

(単位:円)



(税抜き)

なお、経営成績及び主要な利益指標の推移を見ると、次表のとおりである。

(経営成績及び主要な利益指標年度比較)

(単位:円)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
下水道事業収益	4,901,243,667	5,023,048,873	5,064,524,308
うち営業収益	2,318,722,983	2,443,085,705	2,534,489,135
下水道事業費	4,304,601,861	4,252,317,943	4,324,860,243
うち営業費用	3,753,764,678	3,743,944,262	3,857,666,520
当年度純利益	596,641,806	770,730,930	739,664,065
前年度繰越利益剰余金	-	-	-
当年度未処分利益剰余金	596,641,806	770,730,930	739,664,065
総収支比率 (%)	113.9	118.1	117.1
営業収支比率 (%)	61.8	65.3	65.7
総資本利益率 (%)	0.8	1.0	1.0

(税抜き)

(注) 総資本利益率 = (経常利益 / ((期首負債資本 + 期末負債資本) × 1/2)) × 100

総資本利益率は、投下資本に対してどれだけ純利益を上げたかという資本効率を示すものである。率が高いほど総合的な収益性が高いと言える。

### (1) 営業収益及び営業費用

営業収益は 2,534,489,135 円で、前年度に比べ 91,403,430 円 (3.7%) 増加している。主な理由は、事業収益の増加である。営業収益の構成を見ると、97.2%が事業収益で、2.8%が他会計補助金である。

営業費用は 3,857,666,520 円で、前年度に比べ 113,722,258 円 (3.0%) 増加している。主な理由は、処理場費の増加である。営業費用の構成を見ると、減価償却費が 60.8%、処理場費が 30.5%となっている。なお、営業費用の構成は次表のとおりである。

## (営業費用構成年度比較)

(単位:円)

区 分	令和4年度		令和3年度		比較増減
		構成比(%)		構成比(%)	
管 渠 費	122,929,493	3.2	142,470,942	3.8	△19,541,449
ポ ンプ 場 費	29,032,323	0.8	25,487,959	0.7	3,544,364
処 理 場 費	1,175,692,592	30.5	1,060,366,951	28.3	115,325,641
総 係 費	144,136,716	3.7	134,770,615	3.6	9,366,101
減 価 償 却 費	2,345,622,548	60.8	2,373,977,558	63.4	△28,355,010
資 産 減 耗 費	40,252,848	1.0	6,870,237	0.2	33,382,611
合 計	3,857,666,520	100.0	3,743,944,262	100.0	113,722,258

(税抜き)

次に、営業費用を性質別に見ると、次表のとおりである。

## (営業費用性質別年度比較)

(単位:円)

区 分	令和4年度		令和3年度		比較増減
		構成比(%)		構成比(%)	
給 与 費 等	100,046,809	2.6	84,560,100	2.3	15,486,709
委 託 料	436,883,747	11.3	369,109,447	9.9	67,774,300
修 繕 費 等	90,174,833	2.3	109,075,084	2.9	△18,900,251
動 力 費 等	218,704,815	5.7	185,467,533	4.9	33,237,282
負 担 金	582,415,671	15.1	562,463,232	15.0	19,952,439
減 価 償 却 費 等	2,385,875,396	61.9	2,380,847,795	63.6	5,027,601
そ の 他	43,565,249	1.1	52,421,071	1.4	△8,855,822
合 計	3,857,666,520	100.0	3,743,944,262	100.0	113,722,258

(税抜き)

(注) 1. 給与費等には、給料のほか手当、賞与引当金繰入額、法定福利費及び退職給付費を含む。

2. 動力費等には、動力費のほか光熱水費及び通信運搬費、薬品費を含む。

3. 減価償却費等には、減価償却費のほか、資産減耗費を含む。

## (2) 営業外収益及び営業外費用

営業外収益は 2,529,951,735 円で、前年度に比べ 49,951,939 円 (△1.9%) 減少している。主な理由は、長期前受金戻入の減少である。

営業外費用は 467,086,101 円で、前年度に比べ 40,898,785 円 (△8.1%) 減少している。主な理由は、支払利息及び企業債取扱諸費の減少である。

## (3) 特別利益及び特別損失

特別利益は 83,438 円で、前年度に比べ 23,944 円 (40.2%) 増加している。主な理由は、過年度損益修正益の増加である。

特別損失は 107,622 円で、前年度に比べ 281,173 円 (△72.3%) 減少している。この理由は、過年度損益修正損の減少である。

#### (4) 原価計算

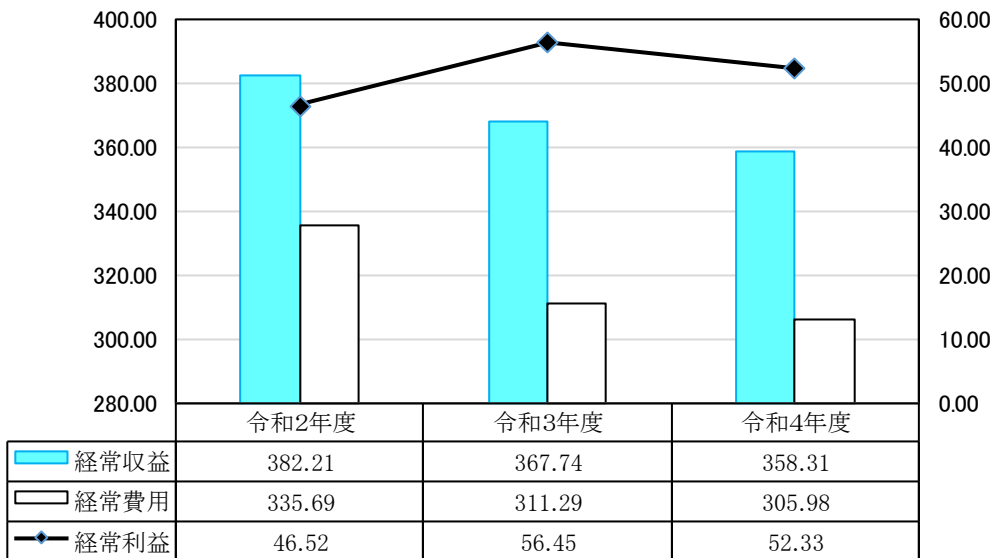
有収水量 1 m<sup>3</sup>当たりの収益及び費用は、次表のとおりである。

単位当たりの経常収益は、前年度に比べ 9.43 円減少し、経常費用は 5.31 円減少している。この結果、経常利益は 4.12 円減少している。

使用料単価は、前年度に比べ 0.10 円減少し、汚水処理原価は 0.92 円増加している。この結果、使用料単価から汚水処理原価の差引は 1.02 円減少している

(単位当たり経常利益年度比較)

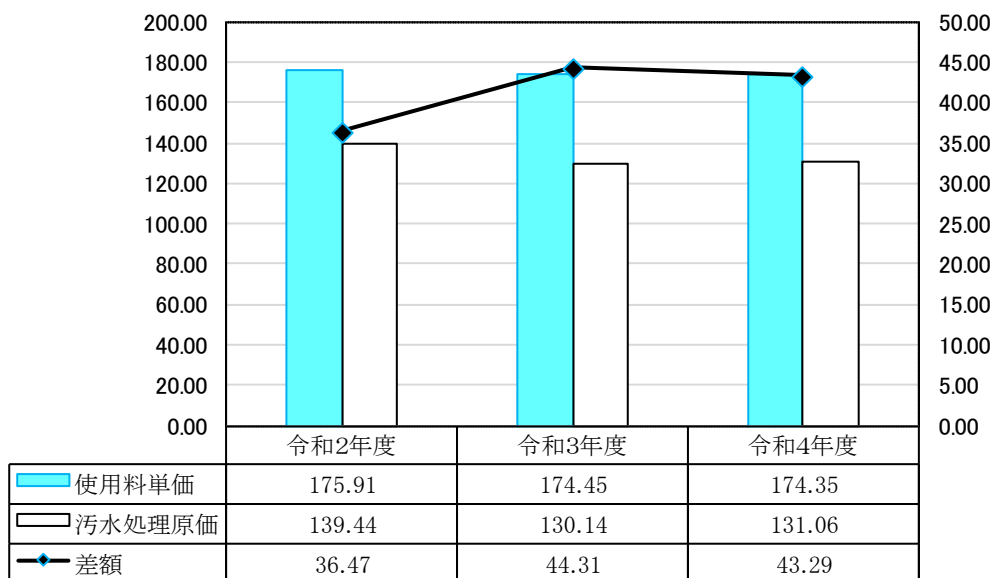
(単位:円/m<sup>3</sup>)



(税抜き)

(単位当たり使用料単価及び汚水処理原価年度比較)

(単位:円/m<sup>3</sup>)



(税抜き)

(注) 汚水処理原価(使用料対象原価) = 経常費用 - (不用品売却原価 + 基準内繰入金(収益的収入分)) - 長期前受金戻入(元金償還に係る一般会計補助金収益化額を除く) / 年間総有収水量

#### (5) 剰余金計算

剰余金の当年度中の増減状況は、次頁のとおりである。

当年度未処分利益剰余金 739,664,065 円は、全額、減債積立金に積み立てる予定としている。

(剰余金計算書)

(単位:円)

	資本金	剰 余 金							資本合計
		資 本 剰 余 金				利 益 剰 余 金			
		受贈財産 評価額	補助金	受益者負 担金及び 分担金	資本 剰余金 合計	減債 積立金	未処分利益 剰余金	利益 剰余金 合計	
前年度末残高	9,006,465,529	31,161,490	568,812,476	922,499	600,896,465	638,850,657	770,730,930	1,409,581,587	11,016,943,581
前年度剰余金の処分額	-	-	-	-	-	770,730,930	△770,730,930	-	-
諫早市上下水道事業の設置等に関する条例第6条第1項による処分額	-	-	-	-	-	770,730,930	△770,730,930	-	-
減債積立金の積立	-	-	-	-	-	770,730,930	△770,730,930	-	-
処分後残高	9,006,465,529	31,161,490	568,812,476	922,499	600,896,465	1,409,581,587	(繰越利益剰余金) -	1,409,581,587	11,016,943,581
当年度変動額	882,873,018	3,266,520	-	-	3,266,520	△624,742,018	739,664,065	114,922,047	1,001,061,585
出資金の受入	258,131,000	-	-	-	-	-	-	-	258,131,000
資本金への組入	624,742,018	-	-	-	-	△624,742,018	-	△624,742,018	-
資本剰余金の受入	-	3,266,520	-	-	3,266,520	-	-	-	3,266,520
当年度純利益	-	-	-	-	-	-	739,664,065	739,664,065	739,664,065
当年度末残高	9,889,338,547	34,428,010	568,812,476	922,499	604,162,985	784,839,569	(当年度未処分利益剰余金) 739,664,065	1,524,503,634	12,018,005,166

## (6) 各下水道事業別の経営成績

各下水道事業の経営成績は、次表のとおりである。

事業別に当年度の純利益（純損失）を見ると、公共下水道事業は純利益 767,367,914 円、特定環境保全公共下水道事業は純損失 45,919,323 円、農業集落排水事業は純利益 17,961,599 円、漁業集落排水事業は純利益 253,875 円である。

(事業別経営成績)

(単位:円)

科 目	公共下水道事業	特定環境保全 公共下水道事業	農 業 集 落 配 水 事 業	漁 業 集 落 配 水 事 業	合 計
営業収益	2,128,954,608	172,837,024	210,905,016	21,792,487	2,534,489,135
事業収益	2,072,683,308	167,047,064	203,155,536	21,391,447	2,464,277,355
他会計補助金	56,210,000	5,789,000	7,725,000	398,000	70,122,000
その他営業収益	61,300	960	24,480	3,040	89,780
営業費用	2,405,464,381	632,719,059	765,211,801	54,271,279	3,857,666,520
管渠費	32,019,343	22,837,342	67,239,856	832,952	122,929,493
ポンプ場費	29,032,323	-	-	-	29,032,323
処理場費	914,398,032	122,250,130	127,993,657	11,050,773	1,175,692,592
総係費	105,729,834	14,051,098	22,767,432	1,588,352	144,136,716
減価償却費	1,322,260,208	473,572,215	508,991,764	40,798,361	2,345,622,548
資産減耗費	2,024,641	8,274	38,219,092	841	40,252,848
<b>営業利益(損失)</b>	<b>△276,509,773</b>	<b>△459,882,035</b>	<b>△554,306,785</b>	<b>△32,478,792</b>	<b>△1,323,177,385</b>
営業外収益	1,294,807,210	507,423,204	689,157,451	38,563,870	2,529,951,735
受取利息及び配当金	212,749	-	-	-	212,749
他会計補助金	635,491,000	254,102,000	394,011,000	16,668,000	1,300,272,000
長期前受金戻入	650,456,988	253,244,479	295,126,550	21,892,959	1,220,720,976
雑収益	8,646,473	76,725	19,901	2,911	8,746,010
営業外費用	250,923,569	93,447,382	116,883,947	5,831,203	467,086,101
支払利息及び企業債取扱 諸費	248,060,115	92,959,890	115,862,501	5,811,093	462,693,599
雑支出	2,863,454	487,492	1,021,446	20,110	4,392,502
<b>経常利益(損失)</b>	<b>767,373,868</b>	<b>△45,906,213</b>	<b>17,966,719</b>	<b>253,875</b>	<b>739,688,249</b>
特別利益	83,438	-	-	-	83,438
過年度損益修正益	83,438	-	-	-	83,438
その他特別利益	-	-	-	-	-
特別損失	89,392	13,110	5,120	-	107,622
過年度損益修正損	89,392	13,110	5,120	-	107,622
当年度純利益	767,367,914	△45,919,323	17,961,599	253,875	739,664,065
前年度繰越利益剰余金	-	-	-	-	-
当年度未処分利益剰余金(未 処分欠損金)	767,367,914	△45,919,323	17,961,599	253,875	739,664,065

(税抜き)



#### 4 財政状態について

当年度末の財政状態を前年度と対比すると、次の貸借対照表のとおりである。

資産の部では、固定資産が 72,684,036,609 円で、前年度に比べ 194,830,114 円 ( $\Delta 0.3\%$ ) 減少している。資産合計は 74,846,146,561 円で、前年度に比べ 75,096,277 円 ( $\Delta 0.1\%$ ) 減少している。

負債及び資本の部では、負債合計が 62,828,141,395 円で、前年度に比べ 1,076,157,862 円 ( $\Delta 1.7\%$ ) 減少し、資本合計は 12,018,005,166 円で、前年度に比べ 1,001,061,585 円 (9.1%) 増加している。

各区分の財政状態の詳細は次のとおりである。

##### (1) 資産の部

有形固定資産は 69,577,634,432 円で、前年度に比べ 237,918,621 円減少している。主な理由は構築物並びに機械及び装置の減価償却による減である。

無形固定資産は 2,601,391,011 円で、前年度に比べ 42,886,584 円増加している。主な理由は、施設利用権の増加である。

また、流動資産は 2,162,109,952 円で、前年度に比べ 119,733,837 円増加している。主な理由は、現金・預金の増加である。

##### (2) 負債の部

固定負債は 26,377,139,624 円で、前年度に比べ 1,042,791,210 円減少している。主な理由は、建設改良費等の財源に充てるための企業債の減少である。

また、流動負債は 2,670,051,302 円で、前年度に比べ 12,827,096 円減少している。主な理由は、未払金の減少である。

##### (3) 資本の部

資本金は 9,889,338,547 円で、前年度に比べ 882,873,018 円増加している。

剰余金は 2,128,666,619 円で、前年度に比べ 118,188,567 円増加している。

企業債の未償還残高は、前年度に比べ 1,060,430,096 円減少している。

前年度末残高	29,470,014,704 円
当年度発行額	1,109,000,000 円
当年度償還額	2,169,430,096 円
当年度末残高	28,409,584,608 円

(貸借対照表)

(単位:円)

科 目	令和4年度			令和3年度			比較増減
	金 額		構成比(%)	金 額		構成比(%)	
<b>(資産の部)</b>							
<b>1 固定資産</b>							
(1) 有形固定資産							
イ 土地		1,256,436,916	1.7		1,253,170,396	1.7	3,266,520
ロ 建物	2,893,776,486			2,894,783,142			
減価償却累計額	△894,201,674	1,999,574,812	2.7	△826,918,437	2,067,864,705	2.8	△68,289,893
ハ 構築物	80,531,546,578			79,494,574,219			
減価償却累計額	△19,254,303,332	61,277,243,246	81.9	△17,502,247,495	61,992,326,724	82.7	△715,083,478
ニ 機械及び装置	10,620,262,906			10,539,396,439			
減価償却累計額	△7,132,001,713	3,488,261,193	4.7	△6,724,346,450	3,815,049,989	5.1	△326,788,796
ホ 車両運搬具	6,646,027			6,646,027			
減価償却累計額	△4,646,886	1,999,141	0.0	△4,056,522	2,589,505	0.0	△590,364
ヘ 工具器具及び備品	26,929,673			24,677,897			
減価償却累計額	△15,747,779	11,181,894	0.0	△15,118,227	9,559,670	0.0	1,622,224
ト 建設仮勘定		1,542,937,230	2.1		674,992,064	0.9	867,945,166
<b>有形固定資産合計</b>		<b>69,577,634,432</b>	<b>93.1</b>		<b>69,815,553,053</b>	<b>93.2</b>	<b>△237,918,621</b>
(2) 無形固定資産							
イ 施設利用権		2,571,990,628	3.4		2,529,780,217	3.4	42,210,411
ロ ソフトウェア		29,400,383	0.0		28,724,210	0.0	676,173
<b>無形固定資産合計</b>		<b>2,601,391,011</b>	<b>3.4</b>		<b>2,558,504,427</b>	<b>3.4</b>	<b>42,886,584</b>
(3) 投資その他の資産							
イ 基金		505,011,166	0.7		504,809,243	0.7	201,923
<b>投資その他の資産合計</b>		<b>505,011,166</b>	<b>0.7</b>		<b>504,809,243</b>	<b>0.7</b>	<b>201,923</b>
<b>固定資産合計</b>		<b>72,684,036,609</b>	<b>97.2</b>		<b>72,878,866,723</b>	<b>97.3</b>	<b>△194,830,114</b>
<b>2 流動資産</b>							
(1) 現金・預金		1,282,003,651	1.7		1,190,415,281	1.6	91,588,370
(2) 未収金		887,040,301	1.1		866,388,034	1.1	20,652,267
貸倒引当金		△10,300,000	△0.0		△15,300,000	△0.0	5,000,000
(3) 貯蔵品		3,366,000	0.0		872,800	0.0	2,493,200
(4) 前払金		-	-		-	-	-
<b>流動資産合計</b>		<b>2,162,109,952</b>	<b>2.8</b>		<b>2,042,376,115</b>	<b>2.7</b>	<b>119,733,837</b>
<b>資産合計</b>		<b>74,846,146,561</b>	<b>100.0</b>		<b>74,921,242,838</b>	<b>100.0</b>	<b>△75,096,277</b>

(税抜き)

## (貸借対照表)

(単位:円)

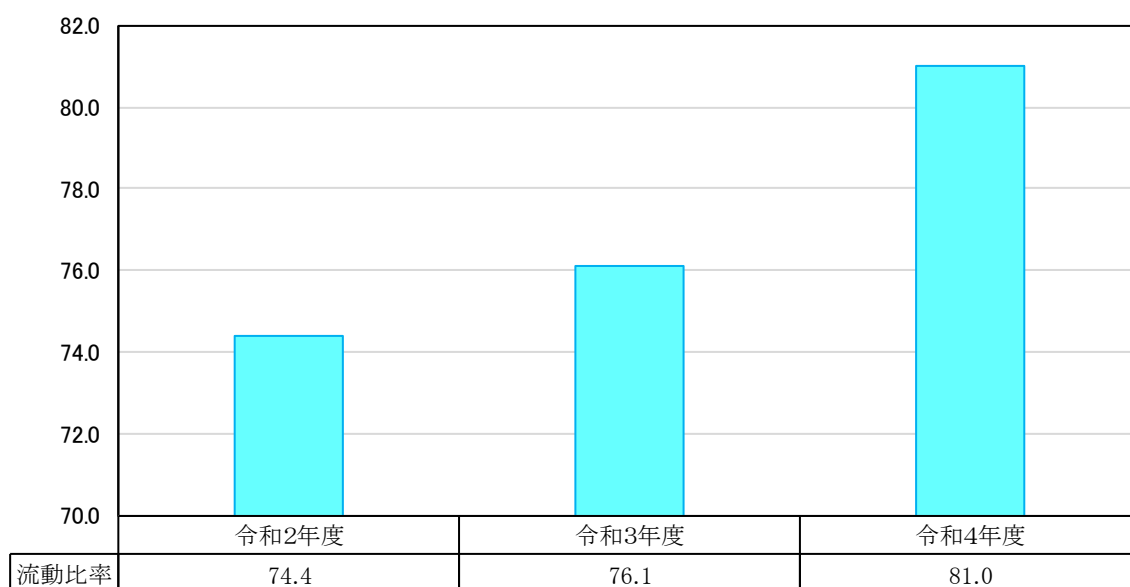
科 目	令和4年度		令和3年度		比較増減
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	
<b>(負債の部)</b>					
<b>3 固定負債</b>					
(1) 企業債					
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	26,245,272,783	35.1	27,300,584,608	36.5	△1,055,311,825
(2) 引当金					
イ 退職給付引当金	131,866,841	0.2	119,346,226	0.2	12,520,615
<b>固定負債合計</b>	<b>26,377,139,624</b>	<b>35.3</b>	<b>27,419,930,834</b>	<b>36.7</b>	<b>△1,042,791,210</b>
<b>4 流動負債</b>					
(1) 企業債					
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,164,311,825	2.9	2,169,430,096	2.9	△5,118,271
(2) 未払金	441,740,266	0.6	471,198,658	0.6	△29,458,392
(3) 前受金	243,306	0.0	22,356	0.0	220,950
(4) 引当金					
イ 賞与引当金	19,214,000	0.0	18,072,000	0.0	1,142,000
(5) その他流動負債	44,541,905	0.1	24,155,288	0.0	20,386,617
<b>流動負債合計</b>	<b>2,670,051,302</b>	<b>3.6</b>	<b>2,682,878,398</b>	<b>3.5</b>	<b>△12,827,096</b>
<b>5 繰延収益</b>					
(1) 長期前受金	48,431,998,115	64.7	47,262,786,529	63.1	1,169,211,586
収益化累計額	△14,651,047,646	△19.6	△13,461,296,504	△18.0	△1,189,751,142
<b>繰延収益合計</b>	<b>33,780,950,469</b>	<b>45.1</b>	<b>33,801,490,025</b>	<b>45.1</b>	<b>△20,539,556</b>
<b>負債合計</b>	<b>62,828,141,395</b>	<b>84.0</b>	<b>63,904,299,257</b>	<b>85.3</b>	<b>△1,076,157,862</b>
<b>(資本の部)</b>					
<b>6 資本金</b>	<b>9,889,338,547</b>	<b>13.2</b>	<b>9,006,465,529</b>	<b>12.0</b>	<b>882,873,018</b>
<b>7 剰余金</b>					
(1) 資本剰余金					
イ 受贈財産評価額	34,428,010	0.0	31,161,490	0.0	3,266,520
ロ 補助金	568,812,476	0.8	568,812,476	0.8	-
ハ 受益者負担金及び分担金	922,499	0.0	922,499	0.0	-
<b>資本剰余金合計</b>	<b>604,162,985</b>	<b>0.8</b>	<b>600,896,465</b>	<b>0.8</b>	<b>3,266,520</b>
(2) 利益剰余金					
イ 減債積立金	784,839,569	1.0	638,850,657	0.9	145,988,912
ロ 当年度未処分利益剰余金	739,664,065	1.0	770,730,930	1.0	△31,066,865
<b>利益剰余金合計</b>	<b>1,524,503,634</b>	<b>2.0</b>	<b>1,409,581,587</b>	<b>1.9</b>	<b>114,922,047</b>
<b>剰余金合計</b>	<b>2,128,666,619</b>	<b>2.8</b>	<b>2,010,478,052</b>	<b>2.7</b>	<b>118,188,567</b>
<b>資本合計</b>	<b>12,018,005,166</b>	<b>16.0</b>	<b>11,016,943,581</b>	<b>14.7</b>	<b>1,001,061,585</b>
<b>負債資本合計</b>	<b>74,846,146,561</b>	<b>100.0</b>	<b>74,921,242,838</b>	<b>100.0</b>	<b>△75,096,277</b>

(税抜き)

ここで、主な財政比率の推移は次のとおりである。

(流動比率)

(単位:%)

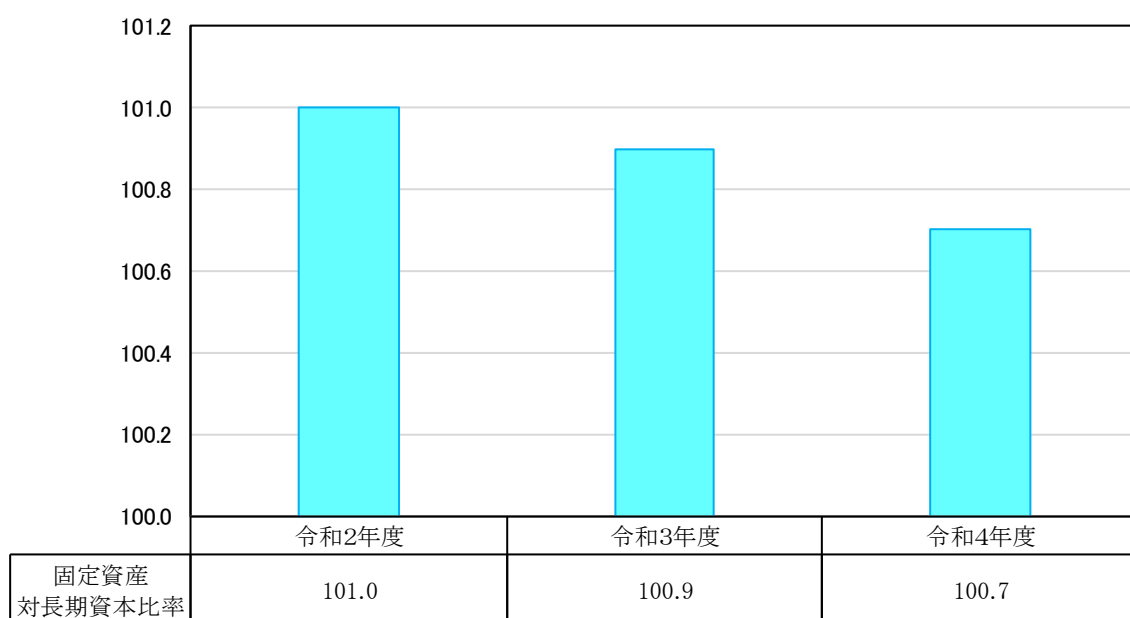


※流動比率＝(流動資産／流動負債)×100

流動比率は、流動負債に対する流動資産の割合であり、短期債務に対する支払能力を表している。流動比率は、100%以上であることが望ましい。

(固定資産対長期資本比率)

(単位:%)



※固定資産対長期資本比率＝(固定資産／(資本金＋剰余金＋固定負債＋繰延収益))×100

固定資産対長期資本比率は、固定資産がどの程度長期資本(自己資本(資本金＋剰余金＋繰延収益)及び長期借入金(固定負債))によって調達されているかを示すものである。この比率は100%以下で、かつ低いことが望ましい。

## 5 資金収支の状況について

業務活動によるキャッシュ・フローは、通常の業務活動の実施に係る資金の状態を表し、投資活動によるキャッシュ・フローは、将来に向けた運営基盤の確立のために行われる投資活動に係る資金の状態を表し、財務活動によるキャッシュ・フローは、業務活動及び投資活動を行うための財務活動に係る資金の状態を表している。

キャッシュ・フロー計算書の推移は次表のとおりである。

(キャッシュ・フロー計算書)

(単位:円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減
<b>1 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
当年度純利益	739,664,065	770,730,930	△31,066,865
減価償却費	2,345,622,548	2,373,977,558	△28,355,010
固定資産除却費	39,549,848	6,870,237	32,679,611
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,000,000	5,400,000	△10,400,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,520,615	2,271,088	10,249,527
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,392,000	432,000	960,000
長期前受金戻入額	△1,220,720,976	△1,261,839,380	41,118,404
受取利息及び受取配当金	△212,749	△263,654	50,905
支払利息	462,693,599	504,902,270	△42,208,671
未収金の増減額(△は増加)	△28,363,609	△20,919,387	△7,444,222
未払金の増減額(△は減少)	△46,832,946	△14,864,540	△31,968,406
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,880,590	2,130	△2,882,720
前払金の増減額(△は増加)	-	-	-
前受金の増減額(△は減少)	220,950	18,732	202,218
預り金の増減額(△は減少)	20,386,617	△31,534,827	51,921,444
小 計	<b>2,318,039,372</b>	<b>2,335,183,157</b>	<b>△17,143,785</b>
利息及び配当金の受取額	212,749	263,654	△50,905
利息の支払額	△462,693,599	△504,902,270	42,208,671
<b>業務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,855,558,522</b>	<b>1,830,544,541</b>	<b>25,013,981</b>
<b>2 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△1,956,907,416	△1,711,266,831	△245,640,585
無形固定資産の取得に係る支出	△128,707,731	△101,367,256	△27,340,475
基金積立てによる収入	△201,923	△252,278	50,355
国庫補助金等による収入	876,783,014	803,800,942	72,982,072
一般会計からの補助金による収入	250,013,000	257,008,000	△6,995,000
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△959,021,056</b>	<b>△752,077,423</b>	<b>△206,943,633</b>
<b>3 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,109,000,000	840,200,000	268,800,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△2,169,430,096	△2,165,145,584	△4,284,512
他会計からの出資による収入	255,481,000	107,178,000	148,303,000
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△804,949,096</b>	<b>△1,217,767,584</b>	<b>412,818,488</b>
資金増加額(又は減少額)	91,588,370	△139,300,466	230,888,836
資金期首残高	1,190,415,281	1,329,715,747	△139,300,466
資金期末残高	1,282,003,651	1,190,415,281	91,588,370

(税抜き)

業務活動によるキャッシュ・フローは、1,855,558,522 円で、前年度に比べ 25,013,981 円増加している。主な理由は預り金の増加によるものである。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△959,021,056 円で、前年度に比べ 206,943,633 円減少している。主な理由は、有形固定資産の取得による支出の増加によるものである。

財務活動によるキャッシュ・フローは、△804,949,096 円で、前年度に比べ 412,818,488 円増加している。主な理由は、建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入の増加によるものである。

以上の3区分から当年度の資金は、91,588,370 円の増加となり、資金期末残高は 1,282,003,651 円となる。

キャッシュ・フローを見ると、業務活動で十分なキャッシュを生み出し、投資と借入金  
金の返済もできており一般的にいう優良企業型である。

## 6 セグメント情報

### (1) 報告セグメントの概要

諫早市下水道事業会計は、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業及び漁業集落排水事業を運営しており、各事業で地理的条件や地域性の違いから収益状況等が異なることから、それらを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は、次表のとおりである。

事業区分	事業の内容
公共下水道事業	市街地における、し尿、生活排水等の処理
特定環境保全公共下水道事業	市街地以外における、し尿、生活排水等の処理
農業集落排水事業	農業集落における、し尿、生活排水等の処理
漁業集落排水事業	漁業集落における、し尿、生活排水等の処理

### (2) 報告セグメントごとの経常損益

当年度の報告セグメントのうち、経常損益は、次表のとおりである。

(単位:円)

	公共下水道事業	特定環境保全 公共下水道事業	農業集落 排水事業	漁業集落 排水事業	合計
令和4年度	767,373,868	△45,906,213	17,966,719	253,875	739,688,249
令和3年度	795,285,189	△53,560,128	31,883,838	△2,548,668	771,060,231
比較増減	△27,911,321	7,653,915	△13,917,119	2,802,543	△31,371,982

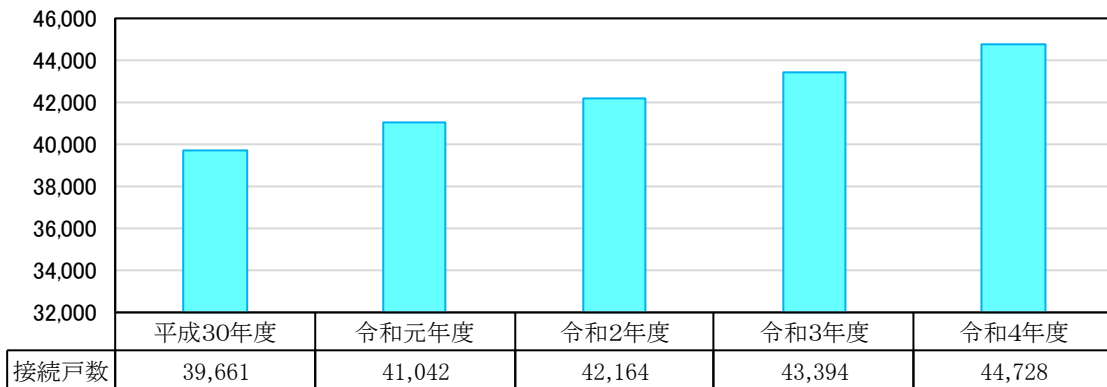
(税抜き)

## 7 むすび

諫早市下水道事業における、接続戸数、接続率及び年間有収水量の推移は、次のとおりである。

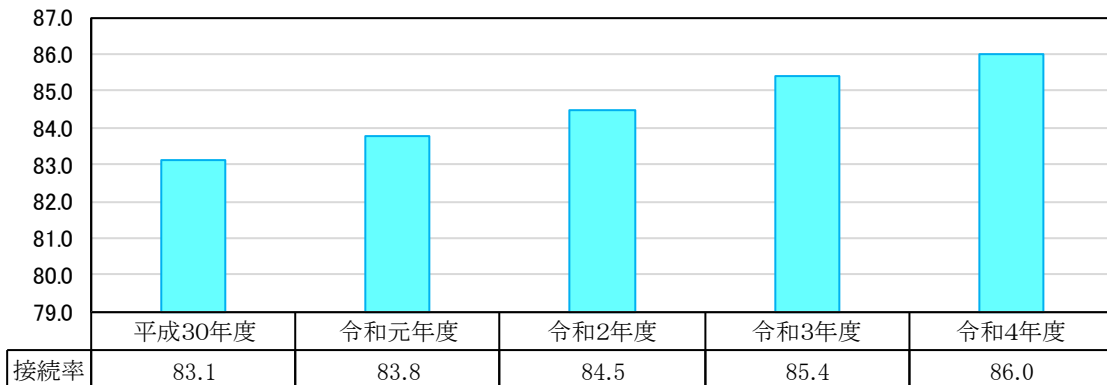
(接続戸数)

(単位:戸)



(接続率)

(単位:%)

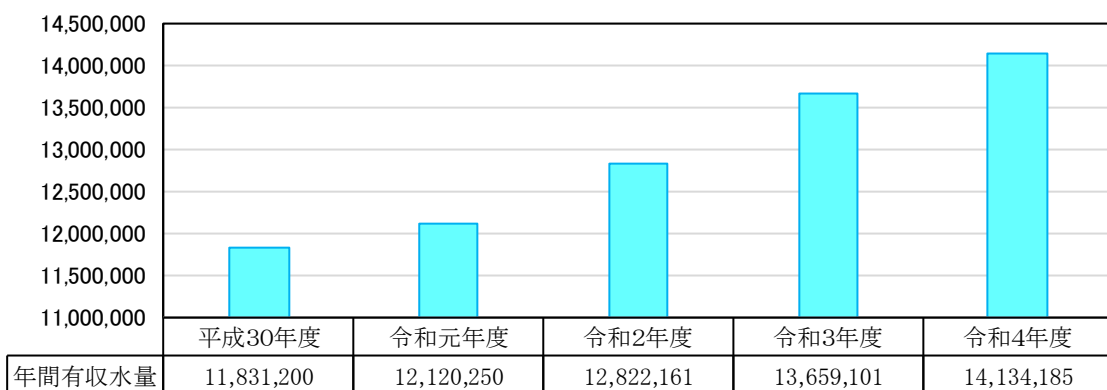


当年度の接続戸数は、前年度に比べ 1,334 戸増加し、接続率は 0.6 ポイント上昇している。

人口減少や節水機器の普及などにより、1 戸当たりの使用水量が大幅に増えることは難しいので、引き続き供用開始区域内の更なる接続を推進し、下水道使用料の増収を図っていく必要がある。

(年間有収水量)

(単位:m<sup>3</sup>)



接続戸数と接続率の増加に伴い、当年度の年間有収水量は前年度に比べ 475,084 m<sup>3</sup>増加している。

下水道事業の業務実績の年度別推移では、供用開始区域内における下水道への接続戸数及び接続率は年々上昇傾向にあり、これに伴い有収水量も増加しているが、人口減少などにより使用料収入の大幅な増加は見込めないと思われる。また、施設・設備の老朽化に伴う更新投資の増大や多額の企業債償還(令和4年度末企業債残高 28,409,584,608 円)が続くなど、下水道事業経営を取り巻く環境は依然として厳しい状況である。

なお、「諫早市下水道経営戦略プラン」における令和4年度時点の財政計画や各指標の計画値は、おおむね達成していると判断できる。これまでも普及率や接続率の向上に努めてきているが、引き続き未接続者に対する個別訪問などにより、更なる接続促進を図りたい。また、地方公営企業の独立採算制の原則に鑑み、使用料収入を確保することにより、今後も一般会計からの基準外繰入金や企業債残高の縮減に努められたい。

また、管路や処理場等の施設の老朽化に伴う更新等については、「ストックマネジメント計画」に基づき行われているが、引き続き長期的展望に立った計画的かつ効率的な整備を実施することにより、施設の長寿命化と管理の最適化に努められたい。

各下水道事業(報告セグメント)の経営成績を見てみると、公共下水道事業、農業集落排水事業、漁業集落排水事業の経常損益は黒字であるが、特定環境保全公共下水道事業では赤字となっている。生活環境の改善と三つの海や河川などの公共用水域の水質保全を図るため、各事業の推進は必要であるが、今後、農業集落排水事業の公共下水道等への統廃合による経営の効率化の推進、また、事務の民間委託による経費縮減の取組を検討するなど、着実に経営計画に基づき経営基盤の改善・強化を図り、事業の効率的かつ効果的な推進に努められたい。